



**地域おこし協力隊第 1 号 荒井 啓汰さん**  
**桂島の「のり合同会社」に就職**  
**浦戸桂島の住民となります**



塩竈市では、浦戸諸島の桂島でのり養殖漁業に従事し、将来の漁業後継者、島づくりの担い手「地域おこし協力隊員」として平成 27 年 12 月から全国に公募しました。

その結果、平成 28 年 4 月 1 日から地域おこし協力隊として桂島で活動してきた荒井啓汰さんが、桂島の「のり合同会社」に就職し、浦戸桂島の住民となりました。

育成講師の方々、のり合同会社、桂島区、復興支援員(一般社団法人 e-front)の皆様にご支援をいただきながら、桂島に新たな担い手が誕生しましたので、ご報告いたします。

### 1. 荒井さんのこれまでの活動内容

桂島ステイ・ステーションを拠点として、のり養殖に従事しながら、地域行事への参加・支援等を行ってまいりました。

### 2. これからの荒井さんの活動

のり合同会社に就職し、桂島に住むとともに、のり漁師として働き自立していきます。



### 3. 今後の塩竈市地域おこし協力隊について

#### 【桂島】

平成 29 年 4 月から新たに二人の地域おこし協力隊が加わり、現在 3 名の情熱ある若者が、地域協力活動(のり養殖等)に従事しております。

#### 【寒風沢】

平成 28 年度は自然災害の影響や、関係者間での調整が進まなかったことにより、受入体制を整えることができなかつたことから、島の新たな担い手を受け入れる体制を地元の方と協議をして整え、募集活動を行えるよう進めてまいります。

#### ※地域おこし協力隊とは

○都市地域から過疎地域等に住民票を移動し、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱する。

○協力隊員は、一定期間、当該地域(浦戸SS)に居住して、漁業等への従事や住民の生活支援等の「地域協力活動」を行いながら、当該地域への定住・定着を図る。